

財政収支(1-11月)

(1) 1-11月の歳入は前年同期比83.0%増、税収は同89.6%増。歳出は前年同期比102.2%増。
 (2) 結果として1-11月の財政収支は5,324.36億リラの赤字(前年同期比2503.7%増)、プライマリーバランスは998.46億リラの黒字(同63.3%減)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-11月(A)	2023年1-11月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	25,471.56	46,605.43	83.0%
税収	21,417.72	40,599.54	89.6%
所得税	3,145.55	6,117.05	94.5%
法人税	4,987.46	7,667.31	53.7%
付加価値税(国内及び輸入)	6,825.87	13,046.61	91.1%
特別消費税	3,673.07	8,115.47	120.9%
その他税収	2,785.77	5,653.10	102.9%
税外収入等	40.54	60.06	48.2%
歳出(b)	25,676.05	51,929.79	102.2%
人件費	5,671.32	12,305.29	117.0%
物品及びサービスの購入	2,054.22	3,722.13	81.2%
経常移転	10,105.78	20,640.49	104.2%
資本支出	1,774.54	3,631.11	104.6%
支払利子(c)	2,926.58	6,322.82	116.0%
その他歳出	3,143.61	5,307.95	68.8%
財政収支(a-b)	▲ 204.49	▲ 5,324.36	▲ 2503.7%
基礎的財政収支(a-(b-c))	2,722.09	998.46	▲ 63.3%

経常収支(2023年1-10月)

(1) 2023年1-10月の経常収支は、406.84億ドルの赤字(前年同期は390.27億ドルの赤字)。
 (2) 2023年1-10月の貿易収支(物品)は773.07億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は367.58億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

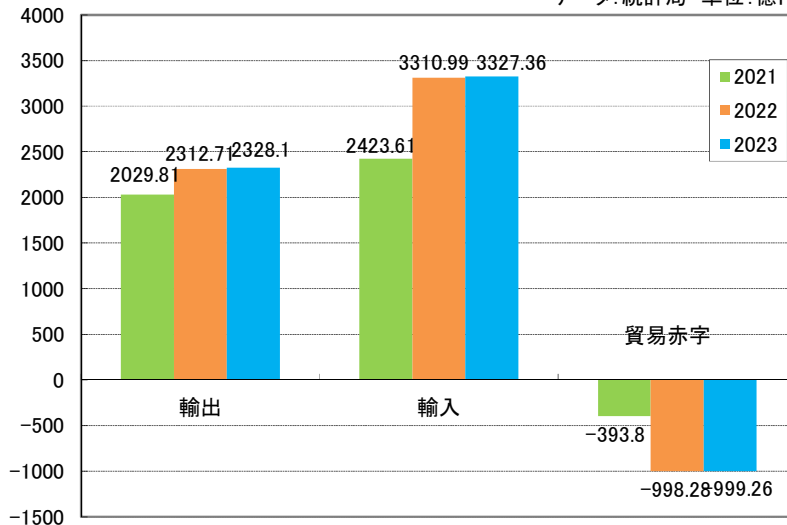
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-10月(A)	2023年1-10月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 390.27	▲ 406.84	▲ 4.2%
貿易収支(物品)	▲ 743.48	▲ 773.07	▲ 4.0%
サービス収支	438.37	459.12	4.7%
旅行収支	333.85	367.58	10.1%
第1次所得収支	▲ 79.48	▲ 96.55	▲ 21.5%
第2次所得収支	▲ 5.68	3.66	164.4%
労働者送金	1.68	1.83	8.9%
資本移転等収支	▲ 0.27	▲ 1.83	▲ 577.8%
金融収支	▲ 162.64	▲ 489.62	▲ 201.0%
直接投資	▲ 73.06	▲ 29.22	60.0%
証券投資	148.94	▲ 12.52	▲ 108.4%
その他投資	▲ 301.16	▲ 340.77	▲ 13.2%
外貨準備	62.64	▲ 107.11	▲ 271.0%
誤差脱漏	227.90	▲ 80.95	▲ 135.5%

貿易収支(1-11月)

(1) 1-11月の輸出額は2,328.1億ドル(前年同期比0.67%増)、輸入額は3,327.36億ドル(同0.49%増)となり、この結果、貿易収支は999.26億ドルの赤字(同0.1%赤字幅拡大)となった。
 (2) 1-11月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.1%(前年同期は40.8%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は29.1%(前年同期は25.4%)となっている。

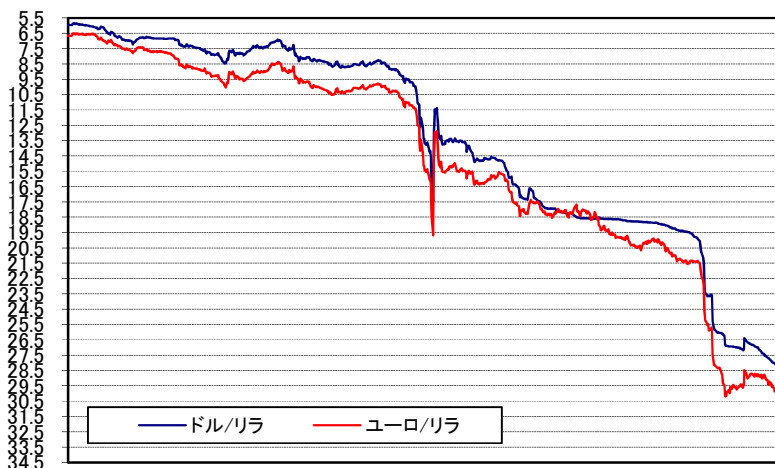
データ:統計局 単位:億ドル



為替(12月)

12月21日、トルコ中央銀行は政策金利を引き上げたが、引き続きリラ安傾向。月末は1ドル=29.43リラ(前月末比2.1%安)、1ユーロ=32.57リラ(同3.3%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ



消費者物価上昇率(11月)

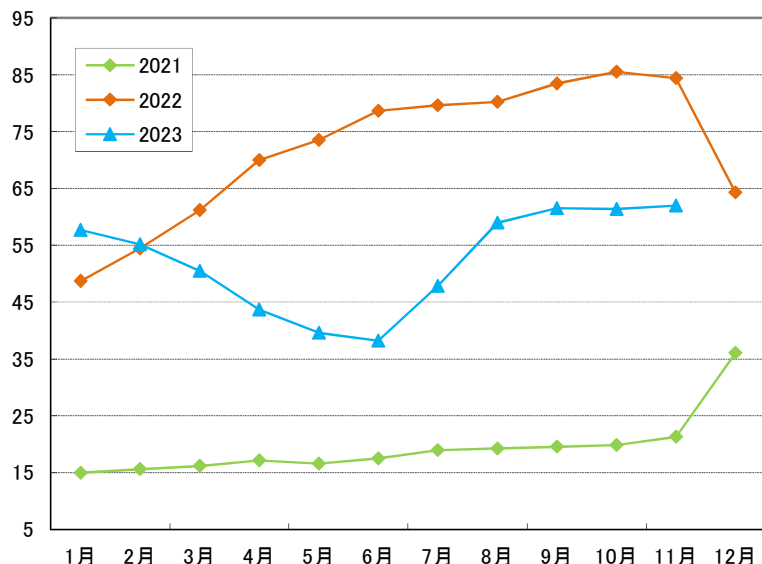
(1)11月の消費者物価は前年同月比61.98%増、前月比3.28%増。

(2)項目別にみると、前年同月比92.86%でホテル及び飲食店が、前月比11.17%で住居が最も上昇した。

(3)2023年末のインフレ率の中銀目標(11/2時点)は前年同月比65%。

(4)国内生産者物価指数は前年同月比42.25%増、前月比2.81%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



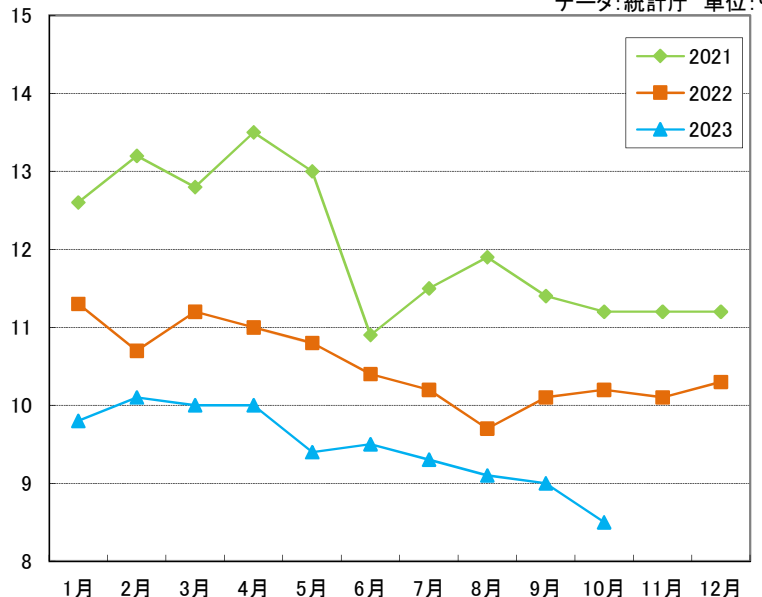
失業率(10月)

(1)10月の失業率(季節調整後)は8.5%となり、前月から0.5ポイント減少。

(2)労働力人口は3,479.6万人、就労者数は3,183.5万人、失業者数は296.1万人。

(3)男性の失業率は7.0%、女性は11.3%。若年層(15-24歳)の失業率は16.3%となっている。

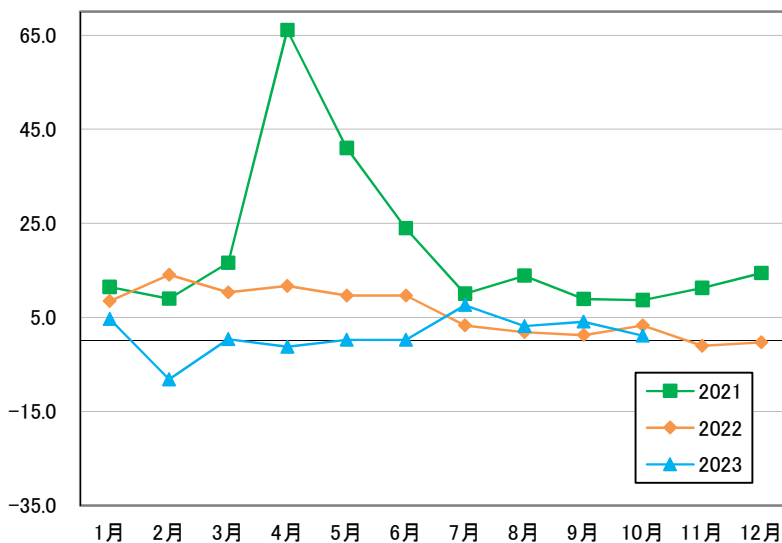
データ:統計庁 単位:%



鉱工業生産(10月)

(1)10月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)1.1%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比5.8%増、資本財が同8.8%増、中間財が同1.3%増となった。

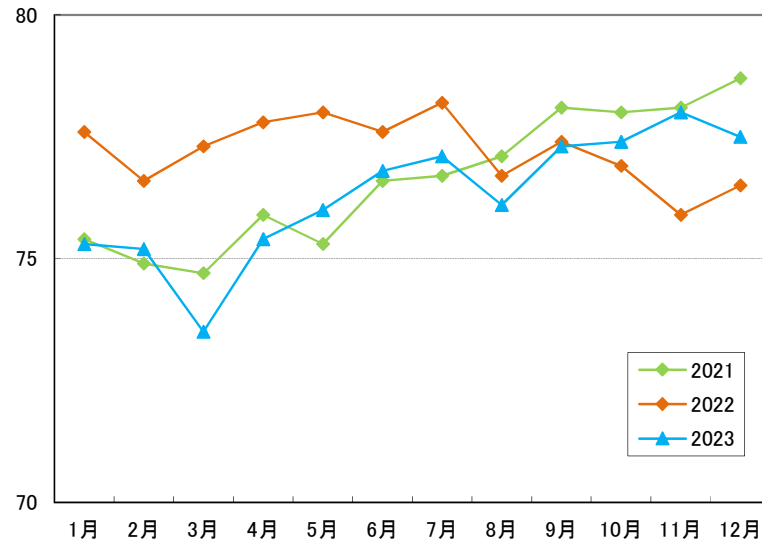
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(12月)

(1)12月の設備稼働率は77.5%となり、前年同月から1.0ポイント上昇し、前月から0.5ポイント減少。
 (2)製造業の分野別では、たばこ製造業(87.9%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(62.1%)が最も低い稼働率であった。

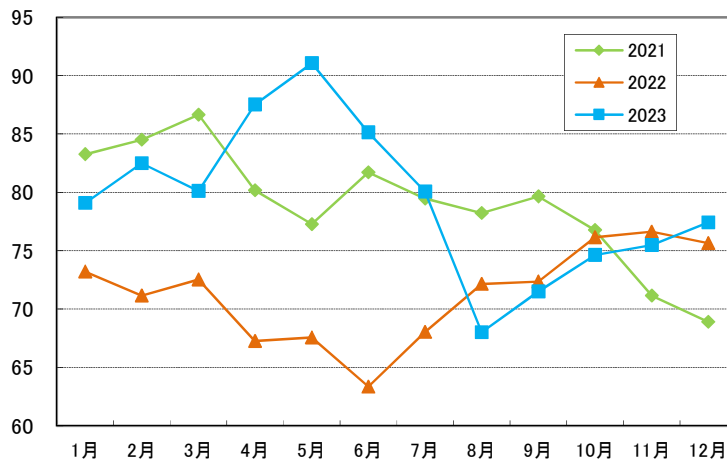
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(12月)

(1)12月の消費者信頼感指数(季節調整値)は77.4ポイントで、前月から1.9ポイント上昇。
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇した。

データ:統計庁 単位:ポイント



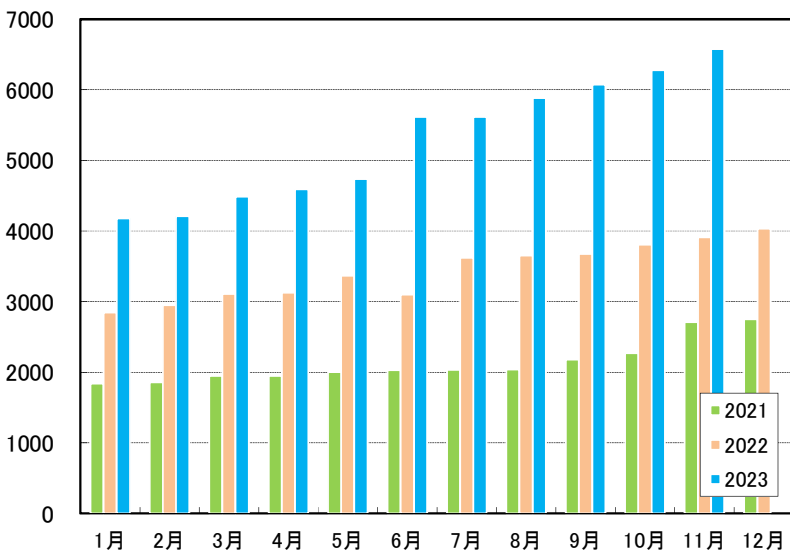
中央政府債務残高(11月)

(1)11月末時点での中央政府債務残高は6兆5,732億リラとなり、前年同月比68.2%増、前月比4.7%増となった。

(2)また、国内債務比率は47.0%、自国通貨債務比率は35.1%(2022年末は34.5%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は0.8%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

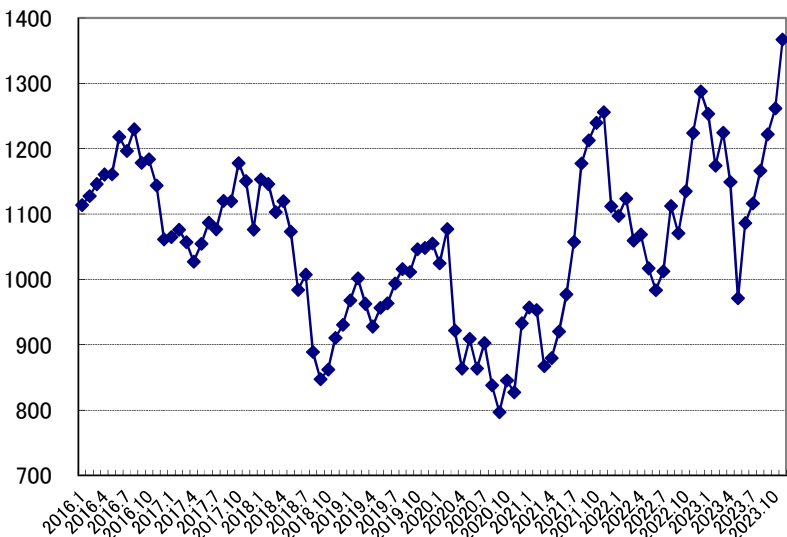


外貨準備高(11月)

(1)11月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,366.80億ドルとなった。

(2)前月から104.95億ドル上昇した。

データ:中銀 単位:億ドル

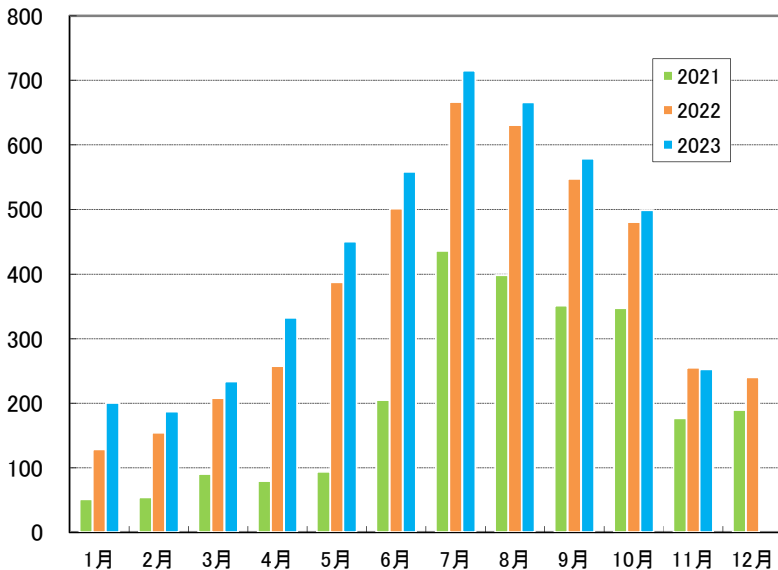


外国人訪問者数(11月)

(1)11月の外国人訪問者数は2,525,345人で、前年同月比1.02%減。日本は8,679人であった(前年同月は3,333人)。

(2)国別ではロシアが最も多く、245,493人で全体の9.72%を占め、以下、ドイツ(244,005人)、ブルガリア(222,884人)となっている。

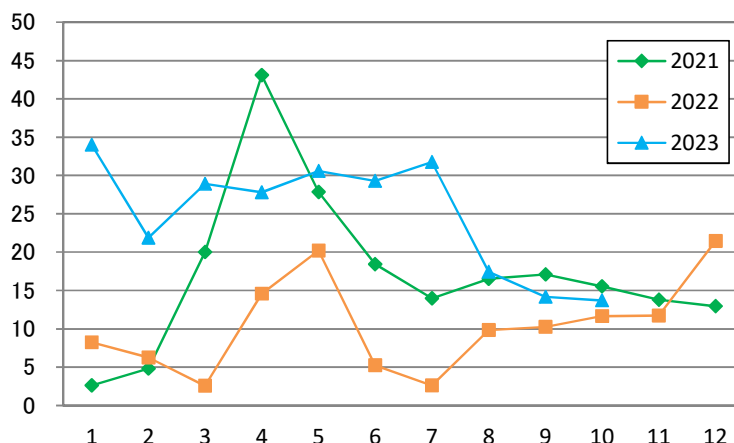
データ:文化観光省 単位:万人



小売売上高(10月)

(1)10月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)13.7%増、前月比(季節及び日数調整後)2.0%増。
 (2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比13.8%増、繊維・衣料が同0.7%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同38.7%増となった。

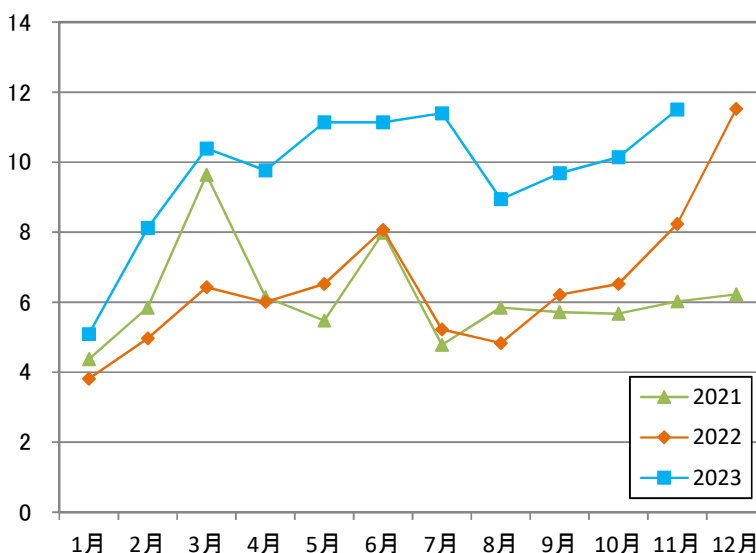
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



新車販売台数(11月)

(1)11月の新車販売台数は115,040台で前年同月比39.76%増。
 (2)11月の内訳は乗用車が91,424台(前年同月比54.4%増)、小型商用車が23,616台(同2.3%増)となった。

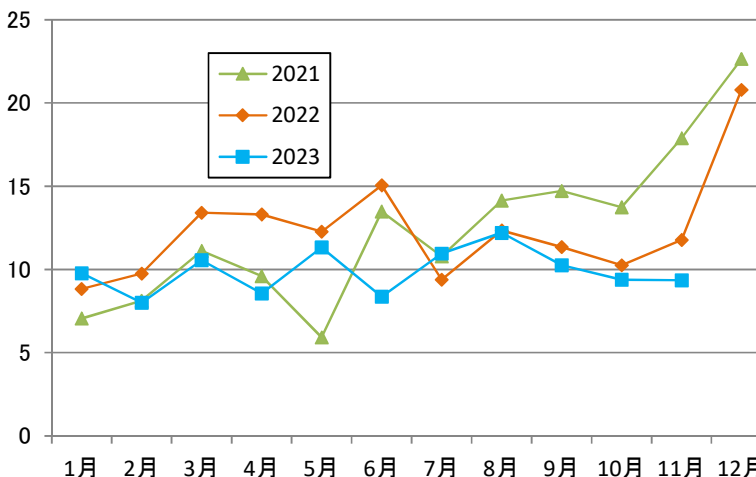
データ:自動車販売協会 単位:万台



住宅販売戸数(11月)

(1)11月の住宅販売戸数は93,514戸で前年同月比20.62%減となった。
 (2)11月は新築が30,472戸(前年同月比18.5%減)、中古が63,042戸(同21.6%減)。
 (3)11月の住宅ローンでの購入は5,245戸(前年同月比68.5%減)、その他が88,269戸(同12.7%減)。

データ:統計庁 単位:万戸



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。